

一般社団法人熊本県タクシー協会



地域での日常業務と熊本見守り応援隊としての取り組み

公共交通機関としての責任を担うタクシー事業者は、地域住民の安全確保、並びに犯罪の未然防止を目的として、365日24時間稼働するタクシー車両の特性を活かし、日々の業務の中で地域社会の見守り活動を実施。

「こども、老人110番通報制度」、コンビニ防犯協定の締結、青年部会「こども安全パトロール」の実施など、タクシー車両での巡回パトロールや無線等を使った情報共有を行っている。

令和6年9月には、熊本市、熊本県警察、熊本市タクシー協会で、「熊本市ドライブレコーダーを活用した地域防犯活動に関する協定」を締結。犯罪の抑止、事件事故発生時の早期解決に繋げることを目的にドライブレコーダーを活用し、官民一体となり、地域の安全・安心の向上に努めている。

異変を察知した事例

路上に転倒している高齢者を見つけた小学生からの通報を受け、当事者を自宅まで搬送した例や、こどもが「変な人がいる」とタクシーに逃げ込んできたため警察へ通報すると同時に、こどもを自宅まで送り届けた事例などがあった。

ひとり歩きで行方不明になる恐れのある高齢者の保護を目的に、警察署からの依頼を受け、地域の事業者にも照会をかけ情報提供を呼びかけた事例もあった。事件事故に関しても同様に、警察署からの依頼により、タクシー事業者がドライブレコーダーの映像を提供する事例もあった。

熊本見守り応援隊としての内部での研修又は周知状況

タクシー車両にステッカー、営業所にポスターやのぼり旗を掲示し周知を図っている。

また、ドライバーに高齢者や障がい者、妊婦・こどもに関する基礎的知識や技術を身につけてもらうことを目的に、当協会でユニバーサルドライバー研修を開催しており、あらゆるお客様に対して安全・安心・快適な輸送サービスの提供に努めている。



今後の見守り活動に向けて

タクシーは安全・安心であることを地域に周知する活動を継続し、こども達がトラブルに巻き込まれそうになった時、近くのタクシーに助けを求めることにより、こども達を犯罪から守り被害の未然防止に努めていく。

タクシー車両の機動力に加え、無線などによる即時通信、通報者の確保・移動が可能であることなどから、タクシー業界として社会貢献できる事業のひとつであると捉えている。



地域見守りパトロール中

ドライブレコーダー搭載車両

熊本県警察 × 協力事業所・協力団体 × 熊本市

